

# 平成 27 年度事業報告について

## I. 法人の概要

### 1. 名称等

公益社団法人日本造園学会

英文表記：Japanese Institute of Landscape Architecture

設立等：大正 14 年 4 月 14 日社団法人日本造園学会設立

平成 24 年 4 月 1 日公益社団法人へ移行

### 2. 主たる事務所の所在地

東京都渋谷区神南 1 丁目 20 番 11 号

### 3. 会員

会員種別	員 数		増減(△)数
	本年度末現在 (H28. 3. 31 現在)	前年度末現在 (H27. 3. 31 現在)	
名誉会員	23	20	3
正会員	2,260	2,320	△60
準会員	19	6	13
賛助会員	63	61	2
購読会員	122	132	△10
計	2,487	2,539	△52

### 4. 会費

正会員 12,000 円，正会員（大学院生）9,000 円，準会員（学部生）3,000 円，  
賛助会員 1 口 18,000 円，購読会員 1 口 12,000 円

### 5. 執行体制

理事の数：20 人（非常勤）

監事の数：3 人（非常勤）

職員の数：3 人（常勤 2 人，非常勤 1 人）

### 6. 公益目的事業

造園に関する調査研究，出版，講習・研修，専門教育推進・評価，表彰を通じて，造園に関する学術および技術の進歩をはかり社会の発展に貢献する事業

### 7. 収益事業等

なし

## Ⅱ. 事業の状況

### 1. 調査研究事業

#### (1) 一般研究

- ・ 従来の研究委員会を再編し、学会の総合性、社会への戦略的発信、対外的戦略を実現するための事業の実施を目的として、新たに研究推進委員会を設置した。従来の生態工学研究委員会、ランドスケープ遺産研究委員会、ランドスケープ建設技術研究委員会、景観計画・デザイン研究委員会、ランドスケープマネジメント研究委員会に代わり、生態工学研究推進委員会、ランドスケープ技術連携研究推進委員会、風景計画研究推進委員会、パークマネジメント研究推進委員会を組織し、社会的要請に対応するための個別テーマによる研究を推進した。
- ・ これらの成果は、機関誌への掲載（出版事業）や全国大会における研究集会（講習・研修事業）等において公表した。

#### (2) 特別研究

- ・ 一般社団法人東京都造園緑化業協会からの受託調査研究として「剪定枝葉堆肥化等のみどりの資源化に関する調査研究」を実施し、都市域におけるみどりの循環的活用の仕組みのあり方や課題について調査研究活動を行い、報告書を作成した。
- ・ ランドスケープ遺産インベントリー作成を継続して進め、各支部において関連する情報収集と調査研究活動を行った。

### 2. 出版事業

#### (1) 機関誌「ランドスケープ研究」

- ・ 機関誌「ランドスケープ研究」第79巻第1号～第4号を編集、刊行した。
- ・ 記事の内容は、全国大会関連記事、特集企画に加え、各種の連載記事、学会からの連絡事項等とした。
- ・ 特集企画のテーマは、「都市のつくる農のランドスケープ」（第79巻第1号）、「ライフラインとしてのランドスケープ」（第79巻第2号）、「オリンピックのランドスケープ」（第79巻第3号）、「ランドスケープの仕事」（第79巻第4号）とした。
- ・ 連載記事としては、「生きもの技術ノート」「海外の造園動向」「恩師からのバトン」を掲載した。
- ・ 刊行作業では、造園に係わる研究者、実務者から構成される編集委員会を組織し、造園学および技術に係わる各号のテーマや執筆者等を選定した。
- ・ 第80巻第3号までに掲載する特集企画および連載企画内容、執筆者等を検討した。

#### (2) 同研究発表論文集

- ・ 造園に関する会員の優れた研究論文を掲載した研究発表論文集をランドスケープ研究第79巻第5号として刊行した。研究発表論文集への掲載が決定した論文の第一著者は、全国大会（講習・研修事業）においての発表が義務づけられる。
- ・ 論文集の刊行作業では、造園に係わる研究者から構成される論文集委員会を組織し、規程にしたがって投稿された論文を審査して、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

#### (3) 同オンライン論文集

- ・ 造園に関する会員の優れた研究論文、短報、資料を科学技術振興機構（JST）が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）で、オンライン論文集第8巻を電子ジャーナルとして刊行し、公開した。

- ・ 論文集の刊行作業では、造園に係わる研究者から構成される論文集委員会を組織し、年 3 回募集を行い、規定にしたがって投稿された論文等を審査して、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

#### (4) ランドスケープ研究増刊作品選集

- ・ 会員による優れた造園作品に関する報告を掲載した「ランドスケープ研究増刊作品選集 2016 (No. 13)」を刊行した。
- ・ 造園に係わる研究者や実務者から構成される造園作品選集委員会および造園作品選集刊行委員会を組織し、応募された 67 作品についての書類審査、現地審査、掲載作品の選考、作品原稿の確認、編集方針の決定等を行った。

#### (5) ランドスケープ研究増刊技術報告集

- ・ 会員による優れた造園技術に関する報告を掲載した「ランドスケープ研究増刊技術報告集 9 2017」の刊行準備を行った。そのために、造園に係わる研究者や実務者から構成される刊行委員会等を組織した。
- ・ ランドスケープ研究 79 巻 4 号および学会ホームページを通じて「技術報告集」に掲載する技術報告編と論説編の募集を行った。また、特集テーマ編を設けて「伝統的な造園空間の継承技術」に関わる技術報告と論説の募集も行った。

#### (6) Urban and Regional Planning Review (URPR)

- ・ 都市・地域計画に関する会員の優れた研究論文（英文）を科学技術振興機構（JST）が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) で電子ジャーナルとして刊行し、公開した。
- ・ 刊行作業では、都市・地域計画等に係わる研究者から構成される論文集委員会を、日本都市計画学会および日本計画行政学会と連携して組織し、規定にしたがって投稿された論文を審査し、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

#### (7) 造園工事総合示方書

- ・ （一社）日本造園建設業協会との包括的な連携事業の一環として、造園技術の確立と更なる向上を図るために平成 25 年度に出版企画した（仮称）「造園施工示方書」について、『造園工事総合示方書（技術解説編）』として発刊を行った。

#### (8) その他

- ・ 国際誌 LEE (Landscape and Ecological Engineering) の刊行・編集に関わる国際コンソーシアム (ICLEE) への参加が承認された。
- ・ その他、講習・研修事業等に係わる出版物等を刊行した。

### 3. 講習・研修事業

#### (1) 全国大会

- ・ 平成 27 年度全国大会を、平成 27 年 5 月 22 日（金）～24 日（日）に東京大学弥生キャンパス（東京都文京区）を主会場として、教育者、研究者、実務者、学生、市民等の広くを対象とした公開シンポジウム、ミニフォーラム、研究発表会、受賞者記念講演、ポスター展示等を開催した。3 日間にわたる全国大会の参加者は、総数延 806 名を数えた。
- ・ 5 月 22 日（金）は、U-30 国際アイデアコンペティション「2015 年、公園のない／ある未来 Our Future With/Without Parks 2015」の一次審査選考作品 9 組の公開プレゼンテーションと

二次審査会として審査委員との公開のディスカッションなどが開催された（公開審査会参加者144名）。

- ・ 5月23日（土）は、定時社員総会の他に、平成26年度日本造園学会賞の発表ならびに表彰式、U-30国際アイデアコンペティション表彰式、日本造園学会賞受賞者講演会、公開シンポジウム「過去と未来からみる都市のランドスケープ：いま、私たちは何をしておくべきか」（参加者393名）、大会企画展示（造園学会百年をめざすランドスケープの技術と空間ポスター展示）、U-30国際アイデアコンペティション作品展示および交流会を開催した。
- ・ 5月24日（日）は、研究発表会（20セッション・75件）、教育職能フォーラム（2テーマ）、研究委員会フォーラム（4テーマ）、ミニフォーラム（6テーマ）、大会企画展示、U-30国際アイデアコンペティション作品展示を開催した。
- ・ 全国大会の成果は、機関誌等（出版事業）にも掲載し、公表した。
- ・ その他、平成28年度全国大会の企画・運営の準備等を行った。

## （2）支部大会

- ・ 平成27年度支部大会を、北海道、東北、関東、中部、関西、九州の各支部において開催した。広く教育者、研究者、実務者、市民、学生を対象にした見学会、公開シンポジウム、フォーラム、研究発表会、ポスター展示等を実施した。
- ・ 北海道支部大会を、平成27年10月3日（土）～4日（日）に、北海道大学学術交流会館（北海道札幌市）にて開催した。研究・事例発表会（口頭発表14件、ポスター発表20件）、シンポジウム「公園の再生を考える」、交流会、見学会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 東北支部大会を、平成27年10月24日（土）～25日（日）に、東北公益文科大学大学院（山形県鶴岡市）にて開催した。「東北の造園業の現状と造園・ランドスケープ分野のこれから」を大会テーマとし、研究・事例発表会（ポスター発表2件）、基調講演、パネルディスカッション、ポスターセッション、交流会、見学会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 関東支部大会を、平成27年11月21日（土）～22日（日）に、日比谷公園水と緑の市民カレッジ（東京都千代田区）他にて開催した。現地見学会・現地セッション、事例・研究発表会（口頭発表46件、ポスター発表17件）、学生デザインワークショップ「東京のコンテクストを読む 東京に潜むマラソンコースの提案」の成果発表会、公開シンポジウム「2020年に向けて動き始める緑のアクション」、交流会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な発表に対して表彰を行った。
- ・ 中部支部大会を、平成27年10月24日（土）～25日（日）に、名古屋市立大学北千種キャンパス（愛知県名古屋市千種区）にて開催した。研究・事例発表会（口頭発表7件、ポスター発表14件）、公開シンポジウム「新しい市民参画の街づくりをめざして～市民協働調査の可能性とこれから～」、見学会、交流会等を実施した。また、研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 関西支部大会を、平成27年10月17日（土）～18日（日）に、大阪府立大学（大阪府堺市）他にて開催した。シンポジウム「関西ランドスケープのいまーみどりと人のストックをどう活かすのか」、公開研究会、交流会、研究・事例発表会（口頭発表23件、ポスター発表12件）、見学会、交流会等を開催した。また、研究・事例発表会では優秀な発表に対して表彰を行った。
- ・ 九州支部大会を、平成27年11月14日（土）～15日（日）に、長崎大学（長崎県長崎市）にて開催した。「未来に向けて交流するランドスケープ-世界遺産を活かした人がかがやくまちづくりを考える-」を大会テーマとし、研究・事例発表会（口頭発表17件、ポスター発表17件）、特別

講演「旧グラバー住宅と軍艦島の魅力と今後の課題」、パネルディスカッション、ランドスケープ遺産経過報告会、見学会、交流会等を開催した。

### (3) 日中韓国際ランドスケープ専門家会議・国際シンポジウム

- ・平成28年度に東京で開催予定の日中韓ランドスケープ専門家会議およびシンポジウムの準備作業を、各国関連学会と調整して行った。

## 4. 専門教育推進・評価事業

### (1) JABEE 認定審査

- ・造園関連分野の大学等における実務者養成の支援、促進のための JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定審査・認定継続審査の受審、審査申請予定校の支援として、審査員の育成等に関する意見交換を行なうとともに、JABEE 認定継続審査に審査委員及びオブザーバーを 10 名派遣した。

### (2) 環境・造園系専門職大学院認証評価

- ・環境・造園系実務者の養成機能の維持・向上のために、環境・造園系専門職大学院の適格性の認証評価を行うこととしており、平成 26 年 2 月に受審校である「兵庫県立大学院緑環境景観マネジメント研究科」へ送付した調査報告書の中の B 判定事項に対する改善報告書について、3 名からなる幹事会にて審議を行った。

### (3) 造園 CPD 制度(継続教育制度)の運営

- ・造園 CPD 制度に関して、会員登録、実施記録登録、実施記録登録証明書の申請、プログラム認定申請等の各種システムの運営、ならびに実施記録登録証明書の発行、認定プログラムの情報提供、各種問い合わせ等を行った。
- ・造園 CPD 会員の入退会や会員区分異動の対応、会員証の発行を行い、平成27年度末の会員登録者数は7,469人となった。
- ・平成27年度実施分のプログラムとして404件を認定した（平成28年3月31日現在）。
- ・造園 CPD 登録実施記録審査委員会および造園 CPD 推進委員会登録実施記録審査検討（エビデンス）部会において、平成 26 年 11 月以降の登録実施記録証明書の発行申請のあった記録を対象に、記録内容および証拠資料について審査を行った。
- ・その他、造園 CPD 制度ホームページ等による広報・普及活動、建設系 CPD 協議会等関連団体との情報収集・交換等を実施した。

## 5. 表彰事業

### (1) 日本造園学会賞・奨励賞・上原敬二賞・特別賞及び田村剛賞

- ・造園に関する学術、技術および芸術の進歩をはかるため、造園に関し特に優秀な業績をあげた会員に、研究論文、技術、設計作品の 3 部門からなる「日本造園学会賞」を授与した。また各部門に「奨励賞」を設けて授与した。加えて、造園の分野において著述、教育あるいはその他広範な社会活動を通じて造園の進歩・発展ならびに啓蒙に多大な貢献をしたと認められる者に「上原敬二賞」、自然公園および自然保護分野に関し特に優秀な業績をあげた者に「田村剛賞」を授与した。さらに、自然と文化の保全を図り、調和のある、新しい環境の創造に寄与した優れた造園に関する業績に「日本造園学会特別賞」を授与した。
- ・いずれも識見の高い研究者及び実務者から構成される学会賞選考委員会が、規程にしたがって審査選考を行った。平成 26 年度に審査選考された授賞候補者について、理事会にて審議・決定し、全国大会において表彰した。内訳は、日本造園学会賞は、研究論文部門 3 名、技術部門 1 名、

設計作品部門 1 名，同奨励賞は研究論文部門 6 名，技術部門 2 名，上原敬二賞 4 名，田村剛賞 4 名，日本造園学会特別賞は 1 件であった。また，平成 27 年度表彰の各賞の選考審査を行った。

## (2) その他

- ・ 若手研究者の支援と学術研究活動の活性化を図るために，「U-30 国際アイデアコンペティション」，「全国大会ベストペーパー賞」，支部における各種表彰等を実施した。特定の課題に対する計画・設計作品，論文・発表等について，識見の高い専門家から構成される審査委員会を設けて審査する形式をとった。

## 6. その他

- ・ 公益法人としての運営の適正化を図るために，事務局機能の強化，各種規程・規則の改定および整備等に努めた。
- ・ 学会の公益事業に関する情報の発信や会員サービスの向上等に資するために，学会ホームページの運用の改善を図った。
- ・ その他

### Ⅲ. 役員等に関する事項

#### 1. 役員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	職名 (H28.3.31現在)
理事・会長	宮城 俊作	H.13. 5.26	総括	無	奈良女子大学生生活環境学部教授
理事・副会長	斎藤 馨	H.13. 5.26	タスクフォース(連携) ・支部・専門職	無	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
理事・副会長	横張 真	H.13. 5.26	学会賞・校閲・ 専門職	無	東京大学大学院工学系研究科教授
理事	小野 良平	H.19. 5.19	総務	無	立教大学観光学部教授
理事	高橋 新平	H.27. 5.23	企画・支部	無	東京農業大学地域環境科学部教授
理事	池邊このみ	H.17. 5.14	学術・JABEE	無	千葉大学大学院園芸学研究科教授
理事	柴田 昌三	H.23. 5.21	編集・校閲	無	京都大学大学院地球環境学堂教授
理事	深町加津枝	H.17. 5.14	国際	無	京都大学大学院地球環境学堂准教授
理事	加藤 友規	H.25. 5.25	財務・タスクフォース (財務)・学会賞	無	植彌加藤園株式会社代表取締役社長
理事	柳井 重人	H.21. 5.23	論文集・校閲	無	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
理事	金岡 省吾	H.21. 5.23	CPD	無	富山大学地域連携推進機構教授
理事	加我 宏之	H.27. 5.23	JABEE・論文集・ CPD	無	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授
理事	篠沢 健太	H.27. 5.23	総務・国際・ 日中韓	無	工学院大学建築学部まちづくり学科教授
理事	鳥居 敏男*	H.25. 5.25	企画	無	環境省自然環境局自然環境計画課課長
理事	永松 義博	H.27. 5.23	支部	無	南九州大学環境園芸学部教授
理事	棚野 良明*	H.27. 5.23	編集	無	国土交通省都市局公園緑地・景観課課長
理事	萩野 一彦	H.27. 5.23	作品選集・CPD	無	株式会社オオバまちづくり本部担当部長
理事	服部 勉	H.27. 5.23	学術	無	東京農業大学地域環境科学部教授
理事	藤原 宣夫	H.19. 5.19	技術報告集・タスク フォース(連携)・学会賞	無	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
理事	細川 卓巳	H27. 5.23	国際・日中韓・ 技術報告集	無	公益財団法人東京都公園協会技術管理担当部長
監事	大黒 俊哉	H.21. 5.23	監査	無	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
監事	萩野 淳司	H.27. 5.23	監査	無	アゴラ造園株式会社代表取締役社長
監事	金子 忠一	H.19. 5.19	監査	無	東京農業大学地域環境科学部教授

※理事の就任年月日は新任の際の就任年月日である。

※表中\*印は「公益法人の設置許可及び指導監督基準」および「同運用指針」に該当する国家公務員出身者である。

## 2. 支部長

支 部	役 名	氏 名	就 任 年月日	職 名 (H28. 3. 31 現在)
北海道	支部長	大塚 英典	H. 27. 4. 1	株式会社ドーコン都市・地域事業本部都市環境部上席技師長
東 北	支部長	温井 亨	H. 23. 10. 15	東北公益文科大学公益学部教授
関 東	支部長	古谷 勝則	H. 26. 4. 1	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
関 西	支部長	上甫木昭春	H. 26. 4. 1	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
中 部	支部長	岡村 穰	H. 27. 4. 1	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授
九 州	支部長	永松 義博	H. 27. 4. 1	南九州大学環境園芸学部教授

## 3. 幹事

役 名	氏 名	就 任 年月日	担当職務	職 名 (H28. 3. 31 現在)
幹 事	國井 洋一*	H. 23. 6. 18	総 務	東京農業大学地域環境科学部准教授
幹 事	大久保 悟*	H. 19. 6. 30	総 務	国立研究開発法人農業環境技術研究所主任研究員
幹 事	八色 宏昌*	H. 25. 7. 6	タスクフォース(連携)	景域計画株式会社代表取締役
幹 事	水庭千鶴子*	H. 15. 7. 12	企 画	東京農業大学地域環境科学部准教授
幹 事	片桐由希子*	H. 27. 6. 27	編 集	首都大学東京都市環境学部助教
幹 事	武田 重昭*	H. 25. 7. 6	学術・JABEE	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科助教
幹 事	菊池佐智子*	H. 25. 7. 6	国 際	山梨県富士山科学研究所環境共生研究部研究員
幹 事	横田 樹広*	H. 25. 7. 6	論文集	東京都市大学環境学部准教授
幹 事	嶽山 洋志	H. 27. 6. 27	論文集(オンライン)	兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科講師
幹 事	板垣 範彦*	H. 24. 12. 8	作品選集	いきものランドスケープ代表
幹 事	大平 和弘*	H. 27. 6. 27	技術報告集	兵庫県立人と自然の博物館研究員
幹 事	飯田 晶子*	H. 27. 6. 27	学会賞・日中韓	東京大学大学院工学系研究科助教
幹 事	神田 紀喜	H. 27. 6. 27	専門職	公益社団法人日本造園学会事務職員
幹 事	栗野 隆*	H. 23. 6. 18	CPD	東京農業大学地域環境科学部准教授

※表中\*印は総務委員会委員兼務。

## 4. 職員

職 務	氏 名	就 任 年月日	担当 職務	備 考
事務職員	芹田 留美	H. 7. 4. 1	事 務	常 勤
事務職員	久住 悦子	H. 21. 10. 1	事 務	常 勤
事務職員	神田 紀喜	H. 24. 4. 1	事 務	非常勤